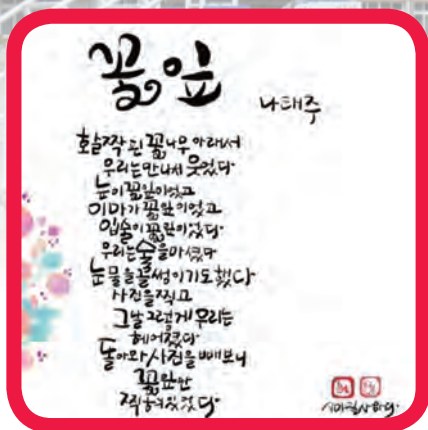


# 韓国慶山市を訪ねて



JIEA



この文集は城陽市国際交流協会が主催した、2024年3月26日から29日までの3泊4日の中学生韓国派遣団に参加した市内中学生9人の感想文です。この事業は姉妹都市である大韓民国慶山市への訪問・交流を通して青少年に国際理解を高めてもらう目的で当協会が1994年から実施しているものです。

コロナ禍の影響により一時中断していた中学生韓国派遣団は、2022年度に再開することができました。2023年度は通常の隔年実施に戻すため昨年度に引き続き行われ、今回で20回目を迎え、通算で181人の中学生が慶山市を訪問しました。

SNSを通じて日本に流入してくる韓国の文化やファッションは、中学生にとってより身近なものとなり受け入れられています。韓国の文化に直接触れ、同年代の慶山市の中学生と交流することも、今では特別なことではない様子が、各人の感想文から読み取ることができます。

将来隣国の仲間として共に歩んでいく礎となり、真に国際的な視野を持った人として成長されることを期待しています。

## 目 次

|                                | ページ          |
|--------------------------------|--------------|
| 派遣団の主な日程                       | 2            |
| 「韓国訪問を通して」 . . . . . 南城陽中学校    | 2年 有村 梨加 3   |
| 「韓国交流会 参加レポート」 . . . . . 城陽中学校 | 1年 後藤 那帆 5   |
| 「韓国を訪問して」 . . . . . 城陽中学校      | 1年 篠原 幸々菜 7  |
| 「韓国へ行って学んだこと」 . . . . . 城陽中学校  | 1年 杉村 侑香 9   |
| 「初めての海外訪問」 . . . . . 城陽中学校     | 1年 西垣 明花里 11 |
| 「韓国派遣を終えて」 . . . . . 京都国際中学校   | 2年 西口 紗矢香 13 |
| 「韓国のレポート」 . . . . . 城陽中学校      | 1年 廣垣 葵乙 15  |
| 「韓国派遣」 . . . . . 城陽中学校         | 1年 舟橋 実来 17  |
| 「中学生韓国派遣について」 . . . . . 東城陽中学校 | 2年 松本 詩芙美 19 |

※学年は2023年度のものです

|      |                   |              |    |
|------|-------------------|--------------|----|
| あとがき | 派遣団団長・城陽市国際交流協会会長 | 森澤 博光        | 26 |
|      | 引率・協会職員           | 大久保 雅由・蓮佛 明子 |    |

## 2023 年度派遣団の主な日程

2024 年 3 月 26 日（火）

城陽市役所を 7 時 00 分に出発  
 関西国際空港から釜山金海空港へ  
 バスで慶山市へ移動  
 慶山市長・慶山市議会表敬訪問  
 慶山市場見学  
 ホテル泊

3 月 27 日（水）

アムニャン  
 押梁中学校訪問  
 慶山数学体験センター  
 慶山市立博物館  
 ホテル泊

3 月 28 日（木）

KTX でソウルへ移動  
 チョンワデ  
 青瓦台見学  
 ミョンドン  
 明洞散策  
 Nソウルタワー  
 ホテル泊

3 月 29 日（金）

チャンドックン  
 昌徳宮（韓服体験）  
 インサドン  
 仁寺洞散策  
 インチョン  
 仁川空港から関西国際空港へ  
 城陽市役所に 21 時 30 分帰着



キョンサン  
 慶山市議会前で記念撮影



大韓民国





## 「韓国訪問を通して」

南城陽中学校2年 ありむら 有村 梨加

貴重な経験をさせていただきありがとうございました。私たちが韓国の中学生と交流し合える機会を設けてくださり、安心して、楽しく過ごせる時間にくださった関係者の皆様。本当に感謝しています。この四日間では、今までの中で、忘れることのないほどのたくさんの驚きや、楽しさを感じることが出来ました。

父から、中学生派遣団の話聞いた時、自分の体調や、環境に甘えてしまっている今を、変えるきっかけが欲しく、

「韓国の文化を学び、経験値を上げたい。」「何かを理由にして、自分に甘えないようにしたい。」「自分自身をレベルアップしたい」そう思い、参加させていただくことにしました。



趙顯逸市長と握手

飛行機を降りた時は、韓国語での会話を初めて聞き、ワクワクしていた感情を遥かに上回るほどの、不安と緊張がたくさん湧きました。実際に、一日目に、韓国の市長さんや、議長さんに挨拶に行った時、何を話しているか分からない状況では、涙を堪え、不安でいっぱいでした。言葉が伝わらない、分からないことは、とても怖かったです。ですが、徐々に雰囲気慣れていくと、交流した韓国の方たちとジェスチャーや、英語を使って、コミュニケーションをとったりしました。そこでは、いかに相手とのコミュニケーションや、思いやりの力が大切なのが身に染み、どんな場所で

も、「思いやり精神を持つ」ことの、大切さを感じられました。



二日目の韓国の中学生との交流では、想像以上にとても積極的な子がたくさんいて、話しかけやすかったです。また、挨拶をした時には、拍手や歓声で盛り上げてくれ、とても賑やかでした。だから、おのずと不安や緊張は減り、翻訳アプリを活用して、会話した時は、リアクションよく反応をしてくれて、嬉しかったです。今まで、話している最中に歓声をかけてもらったり、拍手をもらうことはなかなかなかったので、驚きながらも、とても盛りあがっていて楽しかったです。日本だと、協調性が高く、周りに合わせる人が多い印象です。



一方で、韓国の方々は自分を持っていて、周りに流されにくい人が多いから、歓声や拍手を積極的におこなえるのかなと思いました。「リアクショ

ンをとる」ことの大切さや「反応がある、安心感」などをとても感じる出来事でした。その後は、博物館に行ったり、数学センターで、謎解きをしたりしました。韓国の中学生と一緒に過ごした時間が、私にとっては一番、「韓国に来た！」という実感と楽しさを感じることが出来ました。

三日目や四日目では、ロープウェイで上り、ソウルタワーを見たり、チマチョゴリ（韓国伝統衣装、表紙裏面参照）を着て散策したりと、韓国ならではの文化や、体験も沢山経験してきました。日本に似たようなものも多く、親しみを感じられる文化も多くありました。

ソウルタワーは日本で言う東京タワーのようなもので、外からの景色も中から見える景色も、とても美しかったです。エレベーター内では、映像が流れたり、星が散らばるように綺麗な道を進んだり、ワクワクして移動できる工夫がされていました。

チマチョゴリは日本で言う着物のようなものです。見た目は、美しく豪華なドレスのようでした。滅多にできない格好をして、皇族にでもなった気持ちで、みんなで散策したり、写真を撮りあった

時間は、最高でした。韓国の食べ物は、辛いものが多く、自分の口には合わなかったですが、普段口にしない味が多かったのでおもしろかったです。でも、すぐに日本食が恋しくなってしまうしました。日本に、素材の味を生かした、素晴らしい日本食があることに感動しました。

韓国で、日本とは違う伝統や文化を感じ、たくさんの人と交流したこの四日間は、本当に最高の時間で最高の思い出です。また、韓国の様々な文化に触れたことで、韓国の素晴らしさを知り、そして、日本とは違う文化に触れたからこそ分かる、日本の素晴らしさを実感することができました。

たとえ、過ごす場所が変わり、周りにいる人が変わってしまったとしても、広い視野を持ち、本質を見抜く心掛けをすることで、その空間に適応することができます。この力は、海外に行く時も、卒業する時も、どんな時も利用できる力です。なので、これから先、上手く使いこなせるように頑張っていきます。

本当に楽しく有意義な時間でした。

いつか、みんなでもう一度、韓国に行きたいです。本当にありがとうございました。

### フサンキメ 城陽市役所～釜山金海空港～慶山市へ



大雨の中城陽市役所に集合



関西空港第2ターミナルから出国



釜山金海空港から  
慶山市へ向かうルート

慶山市のバスがお出迎え  
目がさめるようなカラフルな  
バスの内装です





## 「韓国交流会 参加レポート」

城陽中学校 1 年 <sup>ごとう</sup> 後藤 <sup>なほ</sup> 那帆

私は、この韓国への交流会に参加してたくさん  
のことを学びました。

1 日目と 2 日目の慶山市<sup>キョンサン</sup>のホテルで寝る前、夜  
9 時ごろに友だちと一緒にコンビニに行きました。  
日本のコンビニと違い、カップ麺が驚くほど多く、  
びっくりしました。おにぎりは日本のモノより大  
きく、味も濃かったです。キンパも大きく、サイ  
ズや味の違いが印象的でした。私は、日本でもよ  
く知られている、「ビヨット」というヨーグルト  
やバナナミルク、カップラーメンなどを買いまし  
た。とてもおいしかったです。カップラーメンも  
辛いものが多かったです。友だちと分け合い、楽  
しく話しながら食べたことは心に残る思い出とな  
りました。

しかし、強く私の心に残ったことは、店員さん  
とのやりとりです。まず、お金を払うときに、日  
本とは違う硬貨やお札の支払いに戸惑っていたと  
き、店員さんは何を出せばいいか、丁寧に教えて  
くれました。帰り際に「カムサハムニダ」と言う  
と、優しく「ネー（日本語でハイという意味）」  
と返してくれて、何気ないやり取りだけど、現地  
の人と言葉のやりとりができたことがとてもうれ  
しかったです。

また、友達がお土産を買うときに棚に置いて  
あったお菓子がなくなってしまって、店員さんが  
在庫があるか確認しに行った際、私たちは翻訳ア  
プリを少し使いながらも知っている単語で頑張っ  
て伝えました。すると、店員さんが「ない」と日  
本語で申し訳なさそうに伝えてくれました。他に  
も、慶山市のホテルでバイキングの朝食を友達と  
とっているとき、韓国の方が日本語で「どこから  
来たのですか？」など、色々質問してくださった  
り、明洞<sup>ミョンドン</sup>や仁寺洞<sup>インサドン</sup>で買い物をした時も店員の方が  
日本語で話してくださったりして、こんなにも日  
本語を喋れる方が多いんだととても驚きました。

みなさん優しい笑顔で話してくださって、初めて  
の韓国でも安心して、過ごすことができました。

1 日目に、慶山市の市長さんや議長さんのもと  
へ挨拶をするためにバスで移動をしている途中、  
たくさんの景色を観ました。城陽よりも道路が広  
く、海外にきたことをとても実感しました。また、  
ホテルやビル、マンションがたくさんあり、城陽  
よりも高い建物が多かったです。韓国のほとん  
どのマンションには番号がかいてあるのが特徴的  
でした。韓国での食事では、必ずと言っていいほど  
キムチが出てきました。本場のキムチは日本と味  
が全然違うと聞いたことがありました。わたしは、  
韓国で初めてキムチを食べるとき「いったいどの  
くらい辛いんだろう？」とすこしおびえていまし  
た。食べてみるとやはり日本で食べているキムチ  
よりもとても辛かったです。でも、日本で売られて  
いるキムチよりも漬物感が少なくて美味しかった  
です。キムチにもいろいろな種類があって水キム  
チと言って水っぽいキムチもあれば、いかのキム  
チなどキムチになっているものが異なっていたり  
して「こんなにもたくさんあるんだ！」と驚きま  
した。



アムニオン  
押梁中学校での挨拶

2 日目、中学校に訪問させていただきました。  
行かせてもらった学校は日本と全く違って外見が  
カラフルだったり、とても校舎自体が大きかった  
り、初めて見るものだったので、とても新鮮でし

た。私が驚いたのは生徒のみんなが制服で登校するか、私服で登校するか決められることです。私たちが今回行かせてもらった学校は生徒たちの夢を応援するという取り組みを行っているとおっしゃっていました。その取り組みのなかで一番うらやましく思ったのは、ダンス部があるということです。日本の中学校では、ダンス部があるところは少ないです。ダンス部の方たちがK-POPの曲でダンスを披露してくださって、皆さん表情がとても自然でアイドルのように踊っていました。髪の毛や目線の使い方がすばらしかったです。私は、ダンスを踊っているとき、表情が上手く作れないのですが、ダンス部の方の表情を見て私も素敵なアイドルのように表情管理をできるようにがんばろうと思え、K-POPアイドルを目指している方が多い理由がわかりました。



押梁中学校での交流活動

その後の韓国の生徒さんとの交流では、言語が

異なってもお互いに尊重しあって日本語、韓国語いずれの言語も使って楽しく会話し、友だちができたことが一番うれしかったです。

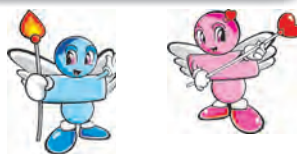


慶山市立博物館でエコバッグ作り体験

私は、韓国で過ごした4日間で”笑顔でいること””感謝の気持ちを言葉で伝えること””あいさつを自分から進めずすること”これは国が違っても気持ちが伝わる一番のコミュニケーションであることを学びました。韓国に行く前は主にものや文化を学びたいと思っていましたが、韓国の方たちの優しさや、温かさにも気づくことができ、将来韓国に行ってダンスを学びたいという気持ちが高まりました。そのためにも韓国語を本格的に学びたい気持ちでいっぱいです。

城陽市国際交流協会の方々、一緒にいったみんな、韓国でお世話になった優しく接してくださった方々、本当にありがとうございました。

# キョンサン 慶山市役所



慶山市のマスコット「ベプリ」は「親しい友達になって、私たちが愛し助け合う」という意味です



4階建ての市役所⇒  
←市役所の奥にある議会  
Google Mapでは「慶山市庁」と表示されます。





## 「韓国を訪問して」

城陽中学校 1 年 しのはら 篠原 ここな 幸々菜

私は今回韓国へ訪問してたくさんのことを学ぶことができました。その中でも特に、英語の力は大切だと思いました。さらに、韓国についてもっと知りたいと思い、日本のよさについてももっとたくさんの人達に知ってもらいたいと思いました。



慶山市議場で記念撮影

キョンサン  
1 日目は慶山市の市役所と市議会へあいさつをしにいきました。市長さんと会ってあいさつをした時、市長さんは私達訪問団一人一人にとっても丁寧に握手し、言葉をかわしてくれました。さらに、市長さんと一緒に市場へ行くことができました。その時にも、慶山市の市民の方ともお話をされていました。韓国は上下関係が厳しく、家族にも敬語を使うことがあると聞きました。そんな韓国で、市長さんは市民の方たちと積極的に関わりをもつようにしていたり、私達にも優しく接してくださいました。慶山市の市長さんは人との関わりや他

アムニョン  
2 日目は押梁中学校へ訪問しました。最初は少し緊張しましたが、押梁中学校の生徒のみなさんはとても明るくてフレンドリーですぐ打ちとけることができました。私は去年の 8 月に城陽中学校で行われた慶山市の中学生との交流会に参加しました。その時はうまく言葉を伝えられず、あまり

お話しすることができませんでした。その反省を生かして、今回はうまく言葉を伝えられなくても頑張って伝える努力をしたり、自分から声をかけにいたりして、たくさんお話し、交流することができました。とっても楽しかったです。



アムニョン 押梁中学生とペアで活動します

押梁中学校へ訪問したあとは押梁中学校の生徒のみなさんと一緒に博物館へ行きました。そこでは慶山市の歴史について学びました。慶山市には、城陽市にある古墳と同じように、昔のえらい人が入っていたお墓がありました。古墳は古墳の種類と大きさでその人の地位などが分かるけれど、慶山市にあるお墓は中に入っているものでその人の地位が分かるのだと知りました。このように、慶山市の歴史は城陽市の歴史と違うところもあり、似ているところもありました。地域によって歴史は様々で、それぞれの地域の特色があるのだと改めて感じました。

ミョンドン  
3 日目は明洞で見学・自由行動をしました。主に、友達と一緒に買い物をしていました。お店の店員さんは韓国の方や海外の方がほとんどでした。日本語では通じにくく、英語で話した方が伝わりやすかったです。その時私は、将来において英語はとても必要な力だと実感しました。3 日目は明洞のほかにソウルタワーへ行きました。ソウルタワーは、日本でいうスカイツリーのようなもので、ソウルの夜景はとってもきれいでした。ソ

ウルタワーには各国の国旗が描いてありました。そこで、外国の方たちが日本の国旗がかいてあるところで笑顔で写真をとっていたのを見ました。その他に、押梁中学校でできた友達に「東京の夜景はとてもきれいだ。」と言われました。私はそう言ってもらえてすごくうれしかったです。これからは、他国について知るのだけでなく、相手に日本のよさを知ってもらい、「日本というのは良い場所だな。」と思ってもらえるようにしたいです。



チマチョゴリを着て  
昌徳宮の階段前で

4日目は韓国の民族衣装であるチマチョゴリを着て、昌徳宮という宮殿に行きました。昌徳宮は世界遺産に登録されていて、とても立派なはなやかで美しい宮殿でした。ここは昔王が住んでおり、政治を行っていた場所だそうです。さらに、韓国の民族衣装であるチマチョゴリも着ることができ

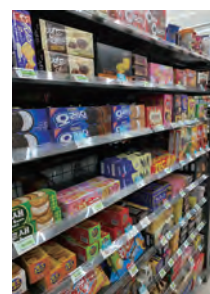
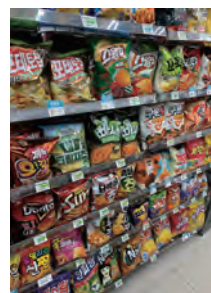
ました。4日目は実際に自分で見たり着たりして、韓国の歴史や文化に触れることができた1日でした。私は他の国の歴史や文化を実際に自分の体で体験したことがありませんでした。なので、今回このように体験することができてとってもうれしかったです。チマチョゴリは日本でいう着物のようなもので、似ているようで違う各国のそれぞれの文化があってすてきだなと思いました。

私は、姉妹都市慶山市へ訪問してたくさんのことを学び、感じることができました。韓国・慶山市へ訪問して改めて、英語の大切さにも気がつきました。日本語が通じない外国へ行くのは、正直すごくこわくて不安でした。だからこそ、世界共通語である英語でコミュニケーションをとれる力というのは将来やこれからの社会において必要な力だと思います。その他にも、他の国への興味をもつようになりました。今回の訪問は慶山市の歴史についてや韓国のことだけを学んだけれど、世界のことについてももっと知れたらいいなと思いました。それだけでなく、日本についてももっともっとたくさんのことを知ってもらいたいです。今度は私達が世界各国と交流をし、日本のよさを知ってもらいたいと思っています。4日間という短い期間でしたが、この貴重な経験を忘れずに、将来に生かしていきたいです。

## PIED ホテル



3月26日・27日の宿泊先  
慶山市の隣、大邱広域市の寿城アルファシティという産業団地にある新しいホテルに宿泊



ホテルの前のコンビニ  
お菓子やカップ麺が充実しています



## 「韓国へ行って学んだこと」

すぎむら ゆうか  
城陽中学校 1 年 杉村 侑香

この韓国派遣団に参加することができて本当に良かったです。今回参加して沢山の思い出が出来ました。

1 日目・・・飛行機の中で私と友達が怖がっているのを見て隣に座っていらっしゃったイランから来た女性 2 人が「大丈夫だよ」と英語で優しく声をかけてくださり、そこで私は英語で少し会話をしました。会話して下さりとても嬉しかったです。  
プサンキム  
釜山金海空港に着いてから、とても大きなリムジンバスに乗って慶山市役所に向かいました。

慶山市役所では市民の方々に拍手で迎えていただきとても嬉しかったです。市長さんとお会いするまでとても緊張していたのですが、市長さんがとても優しい方で沢山お話していただきました。

慶山市場に行った際には市長さんがトッポギの美味しいお店に連れて行ってくださり天ぷらとキンパとトッポギをご馳走していただきました。そこで通訳の方に「あなたは韓国語が上手だから市長さんの前に座って」と言われ、  
  
韓国語を褒めていただいてとても嬉しかったです。嬉しいと同時にとても緊張しました。私自身全然韓国語が上手じゃないのでとても不安になりました。ですが通訳の方が付いていてくださったので良かったです。市長さんにキンパを食べさせて頂いたり、一緒に写真まで撮っていただきました。市長さんに粗相してしまったかもしれないと思い不安になりましたが、一緒に韓国式のジャンケンをしてくださったり優しく話して下さりとても嬉しかったです。

そして夕食がとても豪華で驚きました。今まで食べたことないものを食べてとても美味しかったです。夜はみんなでコンビニに行きました。店員さんと話すのが緊張しましたが店員さんが優しく話して下さり良かったです。



慶山市場の食堂で趙顯逸市長と

2 日目・・・待ちに待った中学校訪問です。

私はこの中学校訪問を一番楽しみにしていました。バスから降りると拍手で迎えていただき、学生のみなさんも手を振っていただきました。歓迎会が始まりました。入った瞬間沢山声をかけられました！私はここで学生の皆さんに挨拶をしました。とっても緊張しましたが「可愛い！」って言ってもらってとても嬉しかったです。

私は同い年のジュハという男の子とプレゼント交換をしました。プレゼントの中には沢山のお菓子が入っていてびっくりしました。まず学校でトックとお菓子を作りました。ジュハが作り方を沢山教えてくれたり、率先して手伝ってくれました。韓国語を使って会話出来てとても嬉しかったです。そして私の近くに座っていたロミという女の子とも仲良くなりました。ロミちゃんとは英語で会話しました。ロミちゃんはとても英語が上手で聞き取りやすかったです。私ができるように簡単な英語で話してくれて嬉しかったです。初めは緊張して英語が出てこなかったのですが、後半になるにつれてどんどん英語が出てきて沢山話すこ

とが出来ました。そして中学校を離れるタイミングが昼休みの時間だったので、たくさんの中学生の方が出てきて、話しかけてくれました。そこで「インスタ交換しよ！」と言われ、時間がなかったので大急ぎで自分のIDを書きました。少しの時間でしたが大勢の人と話すことが出来て良かったです。その後すぐにフォローが沢山来て一気に20人以上フォロワーが増えました。DMでたくさんの人が日本語や英語、韓国語で送ってきてくれて韓国語や英語を使ってやり取りをしました。今でもお互いにDMでやり取りしています。

その後は数学体験センターへ行きました。2チームに分かれてゲームをしました。私達のチームは惜しくも負けてしまいましたが、仲を深めることが出来てとても嬉しかったです。次に慶山市立博物館へ行きました。博物館では昔使っていた物などが展示されていて、慶山市の歴史を知ることが出来ました。

そして夕食はイタリアンのレストランでピザやパスタ、リゾットなどを食べました。そこでお互いに質問し合ったりして沢山お話ししました。日本の有名なものを伝えたり、韓国で流行ってるものなどを教えてくれました。お別れの時に韓国の中学生のみんなと離れるのがとても悲しくて、「また絶対韓国に行く！」と決心しました。中学校訪問で、沢山のひとと話したり、今まで勉強してきた英語や韓国語を使うことが出来て本当に良かったです。



3日目・・・私達はKTXに乗ってソウルへ向かいました。この日の昼食はジャージャー麺とタンスユクを食べました。どちらも初めて食べたのですがとっても美味しくて毎日食べたい！と思い

ました。その後は明洞<sup>ミョンドン</sup>へ行って買い物をしました。私は屋台でいちご飴を食べました。日本のいちご飴よりも2倍ぐらい大きくて数も多かったです。雑貨を買ったり服も買えたので良かったです。

夕食を食べたあとはソウルタワーに登りました。カップルの人が多くて、私もいつか恋人と来たい！と思いました。ソウルタワーからの夜景は本当に綺麗でした。

4日目・・・この日は韓服を着せてもらい、昌徳宮<sup>チャンドク宮</sup>で沢山写真を撮りました。韓服を選ぶ時に中々決められなくて現地の店員さんに聞いて似合うものを選んでもらいました。店員さんがとっても優しくかったです。生憎の雨でしたが、昌徳宮の景色を堪能したり写真を撮れてよかったです。この後は仁寺洞<sup>インサト</sup>に行きました。明洞では買えなかった鞆やお菓子、雑貨など沢山買いました。そして昼食は石焼きビビンバでした。昼食を食べている時に、「もうすぐ日本に帰らないといけないんだ。」と思いとても悲しくなりました。

仁川<sup>インチョン</sup>空港に着いたあとは3時間程の自由時間がありました。空港にあるカフェに入って、いちごとバニラのフラペチーノを飲みました。今までに飲んだことのない美味しさで、日本にも出来て欲しいなと思いました。そしていよいよ帰国の時間が近づいて来ました。飛行機を見ると本当に悲しくてまだまだ居たいと思いました。でも飛行機からの夜景がとっても綺麗で見ることが出来て良かったです。

私はこの韓国派遣団を通して、話すことの楽しさや挑戦することの大切さに気づきました。今まで私は挑戦することを避けていました。ですが今回初めて韓国へ行って、不安にならなくても意外と何とかなるものだなと感じました。辛いのが苦手だけどキムチを食べたり、初めてみる食べ物を食べてみたり、自分から話しかけてみたり、凄く小さなことだけど挑戦したことで、知れたことが多くあるのでこれからの人生で沢山挑戦していこうと思います。

最後になりましたが、このような貴重な体験をさせて頂き本当にありがとうございました！サランヘヨ！



## 「初めての海外訪問」

にしがき あかり  
城陽中学校 1 年 西垣 明花里

### 1 日目

いよいよ韓国に飛び立つ時が来ました。朝早くから起き準備をし、最終確認をして家を出ました。そこから家族とわかれ、集合場所の市役所から市のバスで関西空港へ出発しました。バスの中では友人とお喋りをしたりして過ごしていました。関西空港に着いてからは日本を出国するための様々な手続きを行い、初めての事をたくさん見て学びました。初めての飛行機は怖かったけど、お隣にいた外国人の方が優しく「怖くないよ」と言って声を掛けてくださいました。私はその言葉を信じて空港を飛び立ちました。飛行機が離陸して思った事はとても変な感じがした事です。すごくふわふわしていて、たまに押される感じがしました。私はそのまま眠りに落ちてしまいあまり外を見られなかったのですが、韓国に着く時はとても外の景色が綺麗でしたし、日本とは違う空気を感じました。



空港からリムジンバスに乗り、<sup>キョンサン</sup>慶山市役所に向かいました。その時に韓国のキンパとおにぎりを食べました。日本とは違う味や大きさでした。市役所に着き、慶山市長に会いました。市長に会うのは城陽市の奥田市長について 2 人目になります。とても緊張しましたが、市長はとても優しく接してくださいました。市長とのお話が終わり、慶山市場へ向かいました。市場では韓国ならではの食べ物や雑貨が置いてありました。

自由時間のあと、韓国のトッポギやおでんを

市長さんにご馳走していただきました。私はその時に思ったのは、城陽市長とは違い、韓国の市長は市民達と積極的に関わっていました。関わりを持つことで信頼が得られることも学びました。最後には市長とジャンケンをしデコピンをさせていただきました。こんな事は絶対に日本では出来ないもので、韓国はすごいなと思いました。食べ終わった後はレストランへと向かいました。そこではたくさんの韓国の料理が並んでいました。私達はさっき食べたのであまりお腹が空いていなかったのですが、少しは食べる事が出来、仲間との信頼を深めていきました。ホテルでは私の部屋に集まって女子会をしました。コンビニへ行ったりもしました。あまりにも楽しくて夜遅くまで喋っていました。



### 2 日目

2 日目は中学生との交流をしました。中学校へ着きバスを降りると学校の先生や生徒達が歓迎してくれました。私達が通る度に生徒たちが集まりました。韓国語が分からなかったけれど、相手の方たちが英語を使って話してくれました。私とペアの子で協力してトック（韓国風雑煮）を作りました。その後私達は中学校を離れ、私達とペアの人達で数学センターに向かいました。そこでは協

力して謎を解き、2チームにわかれ競い合いました。私達のグループは負けてしまいましたが、友情を深められることが出来ました。その後は夕食のイタリアンを食べに行きました。味は韓国の辛い感じが入っていましたが、とても美味しかったです。夕食も食べ終わり、中学校の子達をお見送りした後ホテルへ戻りました。2日目はソウルに向けて荷物整理がいっぱいありました。最後のホテルではみんなで話して2日目が終わりました。



慶山市数学センターへ移動の前に校門にて

### 3日目

朝早くから起き、最終確認を何度も行いキャリーケースを持ってバスに乗り駅へ向かいました。駅に着いた時、キャリーケースに違和感を覚えました。なんとキャリーケースのキャリー部分が外れていたり削れていたりして、前に進まなくなってしまう、これはダメだと思い、協会の方に相談をしました。その時ちょうど駅のホームにいたので、今から向かう明洞で買うことにしました。

ソウルに着き、お昼ご飯にジャージャー麺を食べました。その後ホテルにチェックインし、明洞の商店街へ向かい自由時間を満喫し、ソウルタワーにロープウェイで向かいました。ソウルタワーはとても高くて、韓国の景色を360度堪能する事が出来ました。ソウルタワーでも自由時間がありお土産を買うことが出来ました。友達と沢山写真を撮り思い出作りをしました。夜は新しいスーツケースに荷物を入れるべく、ホテルにある計量器で荷物の重さを計る為に部屋と計量器を往復して、なんとか重さを規定内に収める事が出来ました。

### 4日目

最終日の朝は早くから起きてチマチョゴリを着るべく、用意を進めました。ホテルに忘れ物をし<sup>チャンドックン</sup>ていないかしっかりと確認し、昌徳宮に向かいました。そこではみんなチマチョゴリを着て沢山写真を撮って沢山お話をして、とても楽しい時間を過ごす事が出来ました。その後空港に向かいましたが空港では飛行機の出発が遅れてしまい、待ち時間がとても長く感じられました。でもその長い時間があつた事によりお互いの事をもっと知れたと思います。

3泊4日という日程の韓国訪問で、数えたらとても長く感じますが、実際に行ってみると、とても短く感じました。なぜだろうと考えた時に私は1日1日を楽しく過ごせていたのではと考えます。その中でもみんなの仲も深まり、関わりを持つことは大切だと言う事を学びました。楽しみながらも韓国の良さや歴史・文化などを3泊4日間で知れました。韓国のイメージは大体1～2個ですが、今回の3泊4日間で韓国のイメージがガラッと変わり、また韓国に行きたいと思いました。最初の私はしっかりやって行けるのか、不安でしたが、みんなと協力することで不安が飛んでいきました。韓国の皆さんはとても日本語が上手で丁寧に接してくれる人がほとんどでした。今回学んだ事を学校生活や私生活に活かして行きたいと思っています。

この4日間、ありがとうございました。またなにか縁がございましたらその時もよろしく願います。



キャリーケースが破損。移動が大変でした。



## 「韓国派遣を終えて」

にしぐち さやか  
京都国際中学校 2年 西口 紗矢香

私が今回の中学生韓国派遣団に参加した理由は、興味のある韓国に行き、実際に文化に触れてみたいと思ったからです。

私は小学生の頃から韓国に興味があって、特にK-POPと韓国コスメなどが大好きでよく真似して踊ってみたり歌ってみたりしていました。中学も韓国と関係のある学校に進学しました。中学生になってからは「韓国に行ってみたい!」という気持ちがもっと大きくなっていて、そんな私に祖母が勧めてくれたのがこの中学生韓国派遣団というものでした。

小学生から城陽市に住んでいますが、こんな田舎に韓国との姉妹都市があるなんて全く知りませんでした。なので知ったときはほんとにびっくりしたし、嬉しかったです。

1日目、私は他のみんなと違う学校だし地元友達がいないのでみんなと仲良くなれるかほんとに不安だったけれど、いざ話してみると趣味が一緒の子が多く話していてすごく楽しかったので4日間がとても楽しみになりました。

まず慶山市に着いてはじめて訪問したのは市役所です。そこで慶山市の市長チョ・ヒョンイルさんとお会いしました。市長さんは面白くてノリの良い人で、トッポギやキンパ・おでんを奢って下さいました。

私は議長さんへの挨拶を担当しましたが、緊張して覚えていた言葉が詰まってしまって噛み噛みだったけれど、議長さんや職員の皆さんが笑ってくださったので緊張がとけました。

夜ご飯は、韓国の定番である定食みたいなものを食べたのですが日本食とは味付けが違いました。私は和食のほうが好みでした。

ホテルはとても綺麗で、コンビニが近くにあり、みんなで行きました。日本円とウォンでは単位が違うので初めは戸惑ったけれど、コンビニでお金

の計算にも少し慣れたので2日目、3日目のお土産を買う時にすばやくお金をだすことができました。

いちばん楽しかったのは、みんなで夜部屋に集まっていろんなことを話しながらラーメンを食べたり、お菓子パーティーをしたことです。この時にみんなのことがたくさん知れてとても仲が深まったので良かったです。



2日目は、압량중학교(押梁中学校)に行きました。みんな快く迎えてくれて、ダンス部の発表があったのですがとてもかっこよくて自分自身がダンス部であるため、髪の手入れ方やダンスのキレなど、ものすごく参考になるところが多くて見ていて楽しかったです。



ここでは中学生9人と交流しました。まずは家庭科室でトック(韓国風雑煮)とカンジョン(米菓子)みたいなものを作りました。トックは学校

で설날（ソルラル（お正月））の時に食べたことがあるのではじめて自分で作っていい経験になりました。

その後、数学センターというところで宝探しゲームをしました。慶山市の博物館に見学に行き、エコバッグ作りをしました。夜ご飯も一緒にピザとパスタを食べました。日本でも馴染みのあるイタリアンだったのでこの日の夜ご飯が一番美味しかったです。

3日目はソウルへ KTX で移動しました。1日目と2日目のホテルとちがいホテルが狭くてみんなびっくりしていました。その後みんなお待ちかねの<sup>ミョンドン</sup>明洞でお買い物をしました。



一番嬉しかったのは、日本で K-POP のアルバムを買うと 3800 円ぐらいするのに、韓国では 2000 円代で買えるのでとてもお得でした。絶対アルバムを買うときは韓国で買いたと思いました。夕食はプルコギでした。プルコギが一番おいしくておかわりまでしてしまいました。

夕食を食べた後にソウルタワーに行きました。思っていたより高くてびっくりしました。そこのお土産ショップでお菓子の詰め合わせをしました。

4日目はチマチョゴリをレンタルして<sup>チャンドックン</sup>昌徳宮と

いうところに向かいました。チマチョゴリは自分の好きなようにカスタマイズできて、白と銀がベースになっていて紐の部分が紫になっているチマチョゴリを選びました。しかし残念ながら雨が降っていて昌徳宮を見て回れなかったのがすこし残念でした。

その後空港に向かいましたが、2時間ぐらい飛行機が遅れていたため、お土産を買う時間がめちゃくちゃあったので、空港をはしからはしまで見て回りました。カフェで期間限定のいちごのフラペチーノを頼んだのですが、それが本当に美味しくて2杯目も頼もうか迷うぐらいでした。結局飛行機がまた少し遅れたので、ご飯も韓国の仁川空港で食べました。はじめてフォーというものを食べたのですが、ラーメンとは違って少し不思議な感覚の麺でした。

それからやっと飛行機がきて日本に帰ってきました。日本に帰ってきたらやっぱり空気がきれいで、水もご飯もほんとに美味しいことが改めてわかりました。韓国の水と日本の水には違いがあるみたいで、帰ってきて数日は肌荒れをしてしまいました。

だけどこのメンバーで韓国に行けてほんとに良かったなと思います。

私は韓国系の学校なので学校で韓国語と韓国の歴史を習っていて、それを活かして慶山市の市長さんや市民の方達、押梁中学校の子達と話せるといいなと思っていました。いざ韓国に行ってみると緊張して習ってきた韓国語をあまり使う事ができなかったのも、次に韓国に行ったときはもっと話せるように勉強をがんばろうと思いました。

もしまたこのような機会があれば参加したいなと思います。

## トック作り体験

中学校での交流活動で韓国伝統料理のトック（韓国風雑煮）と米菓子を作りました。ミールキットが用意されていて、簡単においしくできました。





## 「韓国のレポート」

ひろがき あこ  
城陽中学校 1 年 廣垣 葵乙

私は今回、韓国に行って学んだことば2つあります。1つ目は、韓国と日本との共通点や相違点を知ったことです。2つ目は、頑張って伝えようとする力です。

私は韓国に行くまで、「ちゃんと韓国語を話せるかな…」「みんなと友達になれるかな…」と不安と緊張で胸がドキドキでした。そして韓国に着き、<sup>キョンサン</sup>慶山市の市長さんの前で初めての韓国語での自己紹介で、体がガチガチになり声が震えてしまいましたが、上手くできて少し自信がつけました。そして市長さんが慶山市場でトッポギとティギム（天ぷら）とおでんを奢ってくれました。日本のおでんと具が違って、韓国はかまぼこみたいな食感で味が染み込んでいてとても美味しかったです。韓国の市長さんと話している間に緊張がなくなり、どんどんワクワクや楽しいという気持ちに変わっていききました。そして初めての韓国での食べ物をついたくさん食べてしまい、夜の韓国式定食が全然食べられず後悔していました。

1日目と2日目の夜に子供達だけでホテル近くのコンビニへいきました。韓国にはセブンイレブンが多いイメージで、中は日本と変わらない感じでした。でも日本よりカップラーメンやお菓子が少し多いように感じました。



アミダ  
押 梁中学校での交流活動

2日目は、慶山市の中学校へ訪問しました。そこで韓国の中学生が韓国語で詩を読んでもくまし

た。何を言っているのか分からなかったけど、気持ちが落ち着くような声で1つ1つの発音がキレイだったことが印象的でした。その後は韓国の人と日本の人で1人ずつペアになって交流をしました。私のペアはソヨンちゃんと一緒に韓国の昼食やお菓子作りをしました。また、みんなで外に出ると「わー」「きゃー」と集まって来てくれて、日本ではない光景を目にして、アイドルになった気持ちになりました。

その後、数学体験センターに行って韓国の人達と日本の人達とペアでAとBに別れて脱出ゲームをしました。ルールがよく分からなくてついていけず、韓国の人達に任せっきりだったので、上手く交流ができず心残りです。でも、韓国の中学生とインスタで繋がることができ、いろいろな人と連絡を取り合ってコミュニケーションが取れてとても嬉しかったです。



慶山市博物館でキャラクターと一緒に

3日目は、お昼ご飯にジャージャー麺を食べました。日本にはない味付けで麺と絡めて食べるのが特徴的でした。ソウルについて明洞<sup>ミョンドン</sup>での自由時間では、家族や友達のお土産をたくさん買っていたら自分のものを買う時間がなく、他の人は服やカバン、アクセサリーを買っていたのに、私は買えず心残りです。明洞では、お土産屋さんや服屋さん、アクセサリー屋さんにコスメ屋さんなどたくさんの種類のお店が並んでいて、屋台もたくさ

ん出ていて今回のお買い物をするところで一番よかったです。夜はソウルタワーを見に行きました。私は高いところが苦手なのであまり外を見ませんでしたが、町の明かりが光っていてキレイな夜景が見られました。



ソウルでの昼食 ジャージャー麺

4日目は、韓服のチマチョゴリを着ました。チマチョゴリは色や大きさ模様もたくさんあって決めるのにすごく迷いました。日本の袴みたいに着るのは難しくなく、思っていたよりも簡単に着られました。着たまま昌徳宮<sup>チャンドックン</sup>という所に行ってみんな写真撮りました。雨が降っていて傘をさしながらの移動はとても大変でしたが、とてもいい写真が撮れてよかったです。

そして私が日本とは違うなと思ったことは信号機と車の運転席の場所です。韓国の信号機は青になると秒数を数える所がついています。今まで何も考えずに、日本の信号を渡っていたけど、韓国

みたいに秒数があることで、「残り1秒だから渡らないでおこう」ということができるので、事故やケガが減ると思いました。そして韓国は左に運転席があるので、バスに乗るときに日本と勘違いして左側に行ってしまうことがありました。なぜ日本と韓国で運転席の場所が違うのか疑問に思いました。

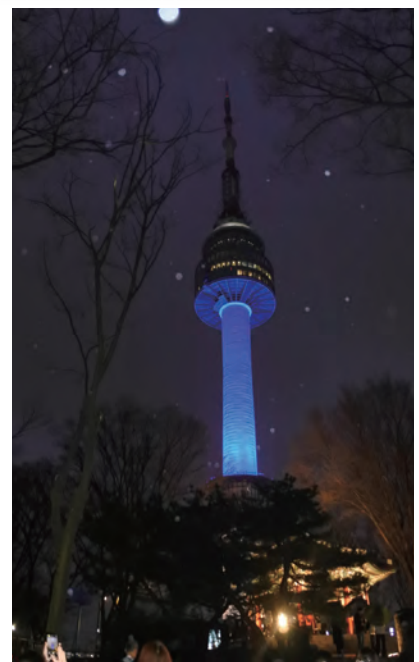
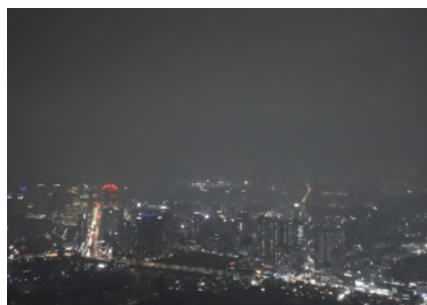
次に、頑張って伝えようとする力について話します。交流したときに、私は韓国語を話せないし、韓国の中学生も日本語を話せませんでした。でも、伝えたい！話したい！という気持ちがあれば、手を使って表現したり、英語で言ってみたり、自分が持っている最大限の力を振り絞ると、その国の言語が分からなくても話せるのだと知りました。今回のことで、国が違っても気持ちだけで繋がることのできるのだと感じました。これは韓国に行かないと知ることができなかったのも、今後の経験に活かしたいと思いました。

私は今回、自分の好きだった韓国に行って、色々な体験や経験をして、自分の知らなかったことに興味や疑問を持ったので、それらを次に活かしたいと思います。そして私が一番学んだ、頑張って伝えようとする力です。国によって言語はあるけど、気持ちと気持ちが通じ合えば、その言語ができなくても伝え合えるということを大切にして、生きていきたいです。

## N ソウルタワー

236.7 mの高さを誇るNソウルタワーは、ソウルの中心部にある南山<sup>ナムサン</sup>の頂上（標高262 m）にあり、ソウル市全体を360°のパノラマで見下ろすことができ、素晴らしい景色を楽しめます。

タワーにあがる高速エレベーターの中は色々な画像が映し出されます。





## 「韓国派遣」

城陽中学校 1 年 <sup>ふなばし</sup> 舟橋 <sup>みく</sup> 実来

私は、中学生韓国派遣でアムニャン中学校の中学生とたくさん交流することを目標として参加しました。8月に慶山市<sup>キョンサン</sup>の中学生が城陽市に来てくださった時、交流会に参加しました。その時は、少ししか韓国の中学生と交流をすることが出来なかったで、今回の交流会ではたくさん話したいと思いました。

1 日目は、まず、関西空港で日本のお金を韓国のお金に変えました。今まで、韓国のお金を見たこともなかったから、今から本当に韓国に行くということを実感しました。釜山<sup>プサン</sup>金海<sup>キムヘ</sup>空港に着いた時に慶山市役所の人たちが迎えに来てくれてとても嬉しかったです。

慶山市役所にバスで向かっている時に初めて韓国の食べ物、キンパを食べました。日本の巻き寿司に似ていてとても食べやすかったです。少しピリ辛で量も多かったです。韓国料理を食べているんだなあ。と実感しました。

慶山市長表敬訪問や慶山市議会訪問では、韓国語で自己紹介をしました。とても緊張しましたが、伝わった時、すごく嬉しかったです。また、自己紹介をした時に韓国人が「おおー」と反応してくれるので、より嬉しくなりました。

慶山市場の見学では、辛そうなキムチなどがたくさんありました。本場のキムチだからとてもテンションも高まりました。市場の中にあるお店で慶山市の市長さんにトッポギを買ってもらいました。韓国に行ったら食べたいと思っていたので、とても嬉しかったです。トッポギは、棒のお餅です。見た目はすごく赤く辛そうだけど、実際は程よい辛さにモチモチ食感で沢山食べられました。

トッポギの他に天ぷらやおでんも買ってもらいました。天ぷらは、さつまいもやかにかまなど日本と同じのもありました。他に、ぷりぷりした麺のような天ぷらもあって、食べる前は「どんな

だろう」と思っていたけど、食べてみると意外と美味しくて、日本にはないものでした。日本のおでんの具は、ちくわやこんにゃくなどですが、韓国のおでんは「オクム」というもちもちした練り物が入っていました。とても美味しかったです。

夜ご飯は、モクチョンでトッカルビを食べました。ハンバーグみたいだけど、肉を凝縮したようなものでした。とても豪華で驚きました。

ホテルに着くとみんなで近くのコンビニに行きました。初めての韓国のコンビニは、とても楽しかったです。韓国のお金を初めて使ってとてもワクワクしました。



2 日目は、待ちに待った韓国の中学生との交流会です。ちゃんと話せるか不安でいっぱいでしたが、私のパートナーの子がとてもフレンドリーでたくさん話しかけてくれて嬉しかったです。

お昼ご飯をパートナーの子と一緒に作ってとても楽しかったです。

数学センターでは、協力して問題を解きました。使う言語は違うけど、一緒に解けたことに感動しました。

博物館では、古墳や土器を見て慶山市の歴史を感じました。

夏に少ししか交流できなくて悔しかった思いをなくすことができました。

慶山市にいたのは、たった2日だけだったけど、みんな優しくて綺麗な街だと思いました。

3日目は、KTXで2時間ほどかけてソウルまで行きました。ソウルは、首都なので建物が多く、お店もたくさんありました。



昼ごはんは、ジャージャー麺を食べました。日本の焼きそばみたいでしたが、ここでも量が多く感じました。ジャージャー麺と一緒に酢豚のようなものも出てきました。韓国では、これをジャージャー麺と一緒に食べるらしく、外はカリカリで、中はやわらかかったです。とても美味しかったです。



ソウルで一番楽しかったことは、明洞見学です。とても広くて1時間半じゃ全然足りないくらいで、

もっとたくさん買い物がしたかったです。家族と韓国に行く機会があったら、もう一度行きたいと思いました。

夜ご飯に食べたプルコギは日本でも食べたことがあったけど、それよりも美味しかったです。プルコギは、全く辛くなくて逆に少し甘味も感じるくらいでした。日本でプルコギを食べた時は、ご飯にのせて食べましたが、レタスの上にご飯をのせて食べるとより美味しかったです。また、キムチとかも加えるともっと美味しくなりました。

夜に行ったソウルタワーでは、上まで行った時の夜景がすごく綺麗でとても感動しました。あの景色は今でも忘れられません。建物の光が一つ一つ光ってとても綺麗でした。

4日目は、韓国の伝統衣装、チマチョゴリを着て、写真をみんなで撮るのがとても楽しかったです。雨だったのが少し残念でしたが、それでも写真がたくさん撮れてよかったです。

今回の中学生韓国派遣に参加して、姉妹都市である慶山市の文化について知ることができました。韓国の食べ物のイメージは、とても辛くて全然食べられないかと思っていたのですが、全くそんなことはなく、とても食べやすかったです。

今まで韓国は、あんまり関わりのない国だと思っていたけど、インスタとかで繋がれたし、意外と近いんだと感じました。本当に今回参加出来て良かったと思います。

こうやって、楽しい思い出を作れたのは、団長の森澤博光さんをはじめ、大久保さんや蓮佛さんがたくさん考えてくれたからだと思います。本当にありがとうございました。

## ソウルでの夕食

ソウルでの夕食はプルコギでした





## 「中学生韓国派遣について」

東城陽中学校 2 年 <sup>まつもと</sup> 松本 <sup>し ふ み</sup> 詩芙美

「韓国に派遣されるまでは不安でいっぱいでした。まず1つ目は言語の問題です。韓国に派遣される前に少し勉強をしていましたが、日本語には無い独特な発音やハングルの構成が難しく、完璧な理解ができませんでした。また市長へのあいさつの練習の時にはスラスラと言うこと、抑揚をつけることにとても苦戦しました。2つ目は同年代の人たちとの交流です。韓国の中学生とのコミュニケーションはもちろん、中学生韓国派遣団には知らない人たちもたくさんいたので、仲良くやっていけるか不安でした。ですが、出国前に同じ学年の子が積極的に話しかけてくれたので、2つ目の心配はすぐに無くなりました。

韓国に到着して、驚いたことは日本と空気が違うということでした。韓国派遣の団長が結団式の時に「日本と外国で空気が違うよ」と仰っていました。それを聞いた時には半信半疑で、そんなことがあるのかなと不思議に思っていたのですが、その感覚を実際に肌で感じることができました。その国の空気というのは、地理的な要因だけではなく、もしかしたらその国の人たちが醸し出す雰囲気や文化によって、他の国の方々に違和感や「空気の違い」を生み出すものなのかもしれません。それを実感できただけでも韓国派遣に参加した甲斐があり、本当に私の人生として有意義なものと感じました。



慶山市議会訪問での挨拶

1 日目は慶山市の市長表敬訪問および議会訪問がありました。市役所や議会ではたくさんの方々に迎えていただき、とても光栄に感じるとともに、ただの観光旅行ではなく城陽市を代表して「姉妹都市間の交流」を深めることに訪問していることを改めて自覚し、背筋が伸びる思いがしました。

今回、私が代表して市長に挨拶させていただきましたが、その際はとても緊張しました。ですが、慶山市の市役所職員の方々がとても温かい目で見守ってくださったので、私も勇気をもって韓国語で挨拶ができました。その際、皆さん「おお」と感心してくださったことが、とても印象に残っています。韓国語の練習を頑張ったことや、事前に韓国のことを色々調べておいた甲斐があったなと思いました。国際交流をするうえで大切なことは「相手の国をリスペクトすること」であると感じ、自分たちの国の良さを発信することも大事ですが、それよりも前に、相手の国のことをきちんと理解しておくことが、スムーズな国際交流につながるのではないかと、この体験を通じて学ぶことができました。



慶山市数学体験センターでの交流活動

2 日目は慶山市の押梁中学校の生徒の方々と交流会でした。詩の朗読や K-POP のダンスパフォーマンスを披露いただき、私たちを歓迎して下さっていることが伝わってきて、とてもうれしかったのを覚えています。またこちらから舞台に

立ってあいさつした際にも、皆さん笑顔で拍手をいただき、おかげで緊張がほぐれました。

この交流会ではサゴルトックという料理を押梁中学校の生徒の方とペアで作りました。韓国語で書いてある説明書は正直ほとんど理解できませんでしたが、翻訳機を使うことや、ペアの方に教えてもらうことで何とか料理を作ることができました。その相手との会話はすべて英語でしたが、自分の伝えたいことをいざ話そうとすると、考える時間が長くなってスムーズな会話ができませんでした。またペアの方が男子だったので、どんな話題を振れば良いのかなど混乱することも多かったのですが、これも今となっては良い思い出です。ただ、やはり共通語である英語を身に付けておくことは大事だなと思いました。また、会話の引き出しをたくさんもつことで、相手の興味関心にそって会話することができるので、国内外、あらゆる話の引き出しを持つために、さまざまなジャンルの知識を取り込んでいきたいなと思いました。



慶山市立博物館で展示物の見学

次に慶山市立博物館に足を運びました。博物館には様々な展示品が並べられており、中でも私が興味を持ったのは、韓国の埋葬品についてでした。韓国の昔の棺にはご遺体とともに天狗の団扇や土器のようなものが入っていたと知りました。埋葬品そのものは別のものでも日本の古墳と仕組みがよく似ているなと思いました。これは城陽市にはたくさんの古墳が存在し小学生のころから授業などで、古墳についての情報に多く触れているからこそ発見できたポイントなのではないかなと思いました。

3日目は、<sup>チョンワデ</sup>青瓦台を訪れました。青瓦台は、その名の通り屋根が青く外観もきれいでしたが、内

装もとてもきれいでした。個人的には京都国際会館に雰囲気似ていると感じました。ただ美しいだけでなく、他国からのゲストを招くための設備や会議するための設備が整っていて、実用性と芸術性どちらも兼ね備えた立派な建物だと感じました。

4日目の<sup>チャンドックン</sup>昌徳宮では、韓服体験をすることができました。本当にチマチョゴリという服を着用してみて、昔の韓国の人も大変だっただろうなと思いました。スカートは長く、踏んづけて転んでしまいそうになるし、雨の日は濡れやすいなど、美しい見た目に反して中々不便だと感じました。また、昌徳宮の正殿を見学しましたが、細部にまで美しい装飾がなされていて、その時代の王族がどれほどの権力を持っていたのかが肌で感じられました。

また、興味深いなと思った宮殿に工夫がありました。正殿に行くまでの道には、品階石という官職の階級が書かれた石が順に並んでいました。左側が武官、右側が文官の位となっていました。また、徳を積んでいるほど階級が高いという仕組みで、その思想が昌「徳」宮の由来かなと思いました。

この中学生韓国派遣では、普通の旅行で学べないような、様々な国際交流のポイントをつかむことができました。これからもこの経験を生かして、国際交流や自分のコミュニティを拡大していけるように頑張りたいです。また、このような体験をさせていただき本当にありがとうございました。この取り組みが今後も行われることをとても期待しています。



KTX



日本の新幹線のようなKTX。  
<sup>トンテグ</sup>東大邱駅からソウルまで1時間50分で結びます。

キョンサン  
慶山市長・議長表敬訪問



チョヒョンイル  
趙顯逸市長と森澤団長との記念品交換



ハクソンデック  
朴淳得議長と森澤団長との記念品交換



机の上にはフルーツとお菓子♡



市役所も議場も電子掲示板で歓迎

キョンサン  
慶山市場



チョビョンイル  
趙顯逸市長のご厚意により慶山市場でトッパギ・キンパ・天ぷら・韓国のおでんをご馳走になりました。  
おいしかったです♡



慶山市場は地元の食品をはじめ生鮮食品から乾物、果物、薬草、伝統的な健康補助食品や生活用品まで揃っていて、韓国の食文化や活気を直接感じられる場所です。

敷地面積 18,607 m<sup>2</sup>、建物面積 14,573 m<sup>2</sup>



歓迎晩餐会



목정（モクチョン）で韓定食の晩餐会  
トッカルビはハンバーグのような肉料理です



森澤団長の挨拶



金興珠企画調整局長の挨拶

アムニャン  
押 梁 中 学 校 訪 問



アムニャン  
押 梁 中 学 校 は 全 校 生 徒 405 人 で、  
校 舎 は と て も カ ラ フ ル な 近 代 的 建 物 で す。



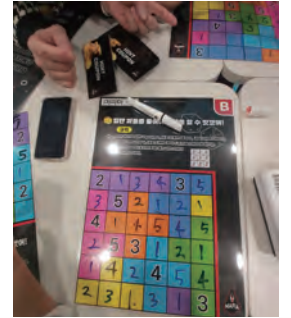
歓迎のイベント  
K-POP ダンス



キョンサン  
慶山市数学体験センター



謎ときゲームでは、両市の中学生在が力を合わせて難問をとこなながらゴールをめざしました



キョンサン  
慶山市立博物館

夕食 Breeze On

慶山市での最後の夕食は  
窯焼きピザのあるイタリアン  
レストランでした



オリジナルエコバッグが完成！



チョンワデ  
青瓦台



チャンドックン  
昌徳宮

あいにくの雨でしたが、お気に入りのチマチョゴリを着て昌徳宮を散策



Extra edition



お世話になったガイドの姜馨愛さんとは  
仁川空港でお別れ  
4日間ありがとうございました！

## 文集の発行にあたって

今回の中学生韓国派遣事業は、20 回目(1 回は諸事情により中止)の開催です。派遣期間は3月26日から29日までの4日間で、派遣中学生9名、引率者3名は、予定通りの行程を終えて、全員元気に無事帰って参りました。当事業の所期の目的である、「次代を担う青少年の国際理解をはかること」については十分に果たすことが出来たと思います。



第1日目、慶山市役所への表敬訪問をいたしました。チョヒョンイル 趙顯逸市長はじめ、多くの職員の皆様の出迎えを受けました。歓迎式では、奥田市長からの親書を、趙市長にお渡しをし、趙市長から一人ひとりにお土産を頂きました。学生達は全員、韓国語で上手に自己紹介をしてくれました。

続いて慶山市議会を訪問し、朴淳得議長にお会いして、立派な議場を見学させて頂きました。

第2日目、午前10時に、押梁中学校を訪問いたしました。

中学校へ到着と同時に大変な歓迎を受け、続いて講堂で歓迎式が行われました。学生同士の挨拶や自己紹介、同校の紹介、学生による詩朗読やダンス部のプロの様なダンスをみせてもらい感動いたしました。

伝統料理の調理体験をして、午後からは、慶山市数学体験センターへ移動しました。

グループに分かれて、ゲームに挑戦しました。両国の生徒が、言葉の壁を乗り越え協力し合って難問を解いていくゲームです。中学生同士の親睦交流を果たすことが出来たと思います。続いて、数年前に立派にリニューアルされた慶山市立博物館を見学しました。

夕食は、両国の中学生一緒に楽しく全員でいただきました。

第3日目、朝9時にホテルを出発し、東大邱駅からKTXでソウル駅まで移動しました。

ソウル市内では、青瓦台を見学、明洞で買い物をして、夜はロープウェイでソウルタワーに上り夜景を楽しみました。

第4日目、昌徳宮を韓服に着替えて、見学いたしました。韓国の歴史と文化について詳しくガイドさんから説明を受け大変勉強になりました。

そして、仁川空港から夕方の便で関空へ全員無事に帰って来ました。

今回、慶山市担当課の皆さまには1日目の釜山金海空港の迎えから、3日目の東大邱駅まで3日間、市職員の同行があり、移動は全て慶山市公用バスでお世話になりました。また、1日目の歓迎晩餐会・2日目の夕食会と2回も食事会を開いていただき、これまでと同様に姉妹都市交流を積極的に力強く推進されていると感じました。

今回、派遣団に参加してくれました9人の学生の皆様は、韓国語が上手でそれぞれの場所で自己紹介を立派にしてくれたと思います。実際に韓国の文化や習慣に触れ体験したことを、これからの人生にいかしていただければと思います。また、慶山市の生徒たちとの交流を通じて多くの友達が出来たことと思います。いつまでも大切な友として交流を続けて行っていきたいと思ひます。

結びに、今回の中学生韓国派遣事業に対しまして、奥田敏晴城陽市長はじめ、多くの皆様にご支援とご協力をいただきましたことに対しまして心から感謝申し上げます。



2023 年度中学生韓国派遣団団長  
城陽市国際交流協会会長

森澤 博光



城陽市国際交流協会

〒610-0121

城陽市寺田西ノ口 7-4 西邦ビル2階

Tel : 0774-57-0713

URL : <https://www.jiea.jp/>

E-mail : [office@jiea.jp](mailto:office@jiea.jp)